

調 達

東京エレクトロングループが目指す価値の高い製品づくりは、製品を構成するすべての材料、部品の機能が発揮され、高品質を追求することを基盤としています。取引先さまとのコミュニケーションを大切にし、継続した信頼関係に基づき、ものづくりにおいてグローバルで共に成長し続けます。

サプライチェーン・コミュニケーション

当社グループでは、日常のコミュニケーションに加え、取引先さまとの関係強化の場として「生産動向説明会」や「TELパートナーズデイ」を開催し、CSRの取り組みの紹介や特に優れた取引先さまの表彰をさせていただいています。また、取引先さまへのお願いとして、調達方針の中に児童労働や強制労働の禁止をはじめとする労働関連法令の遵守や基本的人権の尊重などを盛り込み、ウェブサイト上に開示しています。

具体的な活動としては、重要な取引先さまにSupplier Total Quality Assessment (STQA)を定期的実施しています。また、2014年度も調達額の80%以上を占める取引先さまに対し「サプライヤーCSR調査」(EICC®行動規範に準拠)を実施し、25%の取引先さまにおいて前年度からCSR活動に改善がみられました。調査結果は取引先さまにフィードバックし、双方向での改善活動となるよう努めています。

2015年6月、当社グループはEICC®へ加盟しました。引き続き、EICC®に準じたサプライチェーンのCSRを推進していきます。



2014年度に開催した「TELパートナーズデイ」

調達BCP

当社グループは、継続的に取引先さまと災害対策活動を進めています。その起点となるのが、調達品の生産拠点のデータベース化です。災害発生時にいち早く被災状況を確認し、速やかな復旧ができるよう毎年アップデートを行っています。2014年度は、約14,000拠点を登録し、年度中に発生した3回の事例で被災状況の確認を行いました。

また、BCP体制の整備活動についても毎年アンケート調査を実施し、取引先さまとリスク低減活動を進めています。2014年度も調達額の80%以上を占める取引先さまに対し調査を実施し、41%の取引先さまにおいて前年度から改善がみられました。調査結果は取引先さまにフィードバックし、今後の改善活動につなげています。

調達BCPへの取り組み

調達BCP	調達BCPスキーム	発生後対策	①被災状況調査・影響評価 (調達BER※1)	スピード・精度
		事前対策	②復旧支援・調達対策 (調達BDR※2)	
		③取引先さまとのBCP体制整備	リスク最小化	
		④取引先さまとの尊敬と信頼による継続的な関係づくり		

※1 BER: Business Emergency Response の略。災害発生直後の初期対応。

※2 BDR: Business Disaster Recovery の略。被災調査の結果に応じて発動する災害復旧対応。

紛争鉱物

当社グループでは、コンゴ民主共和国および近隣国産出の鉱物の中で、武装集団の資金源となり、人権侵害、労働問題などの根源になっている紛争鉱物を使用した原材料およびこれらを含む部材・部品などの採用を排除していく方針です。

2014年度は、初めてCFSP※3策定書式による紛争鉱物の原産国および製錬所調査を取引先さまにお願いしました。その結果、当社の調達品に関わるCFSP※4認定製錬所が117社特定できました。今後もこの調査を毎年実施し、取引先さまとの間で回答率の向上、調査手法の整備、データ精度の向上に取り組んでいきます。

※3 CFSP: Conflict-Free Sourcing Initiative の略。EICC®とGeSI (Global e-Sustainability Initiative) による組織。紛争鉱物の製錬所について、コンゴ民主共和国および周辺諸国における武装勢力の資金源になっていないか、監査、認定を実施している。

※4 CFSP: Conflict-Free Smelter Program の略。CFSPが提唱・主導する紛争鉱物不使用製錬企業プログラム。

紛争鉱物の種類

紛争鉱物名	使用用途例
タンタル	電解コンデンサ、集積回路、耐熱金属
スズ	ハンダ、めっき、還元剤
タングステン	超硬合金、電子部品機構
金	集積回路、めっき、コネクタ